

# 三太郎線 周辺の 夜間利用ルール試行開始後の状況について

市道三太郎線周辺では、自然を守りながら利用していくために、ナイトツアーなどの夜間の利用に対するルールが試行開始されました。(令和3年10月29日～)

以来、利用者へのアンケートや自動撮影カメラなどで、ルールの遵守状況やルールを設定した効果を検証しています。

今回は、その結果や今後の取り組みについてご報告※します。



ルール試行開始直後や、混雑が予想される時期には、現地での予約確認や聞き取り調査を実施しました。(写真は令和3年11月21日の調査の様子)

## たくさんの方が予約している一方で...

試行開始からこれまでに、661台の車の通行が確認されており、そのうち602台は事前予約を行った車でした。一方、未予約で利用した車も50台程度見られました。※台数は全て令和3年12月31日までの集計結果



予約利用車が西仲間側から出ていく様子。現地に設置した自動撮影カメラで、日々の様子を確認しています。(令和4年1月4日撮影)

### 夜間利用ルール



**通行には  
事前予約が必要です！**

台数を制限し、持続可能な利用を目指しています。



**時速 10 km以下で  
走行してください！**

野生動物の交通事故が多発しています。



**ガイドの利用を  
推奨します！**

たくさんの生き物を  
安全に観察できます。



石原栄間線の通行は予約時に申請



スタル俣線は夜間通行自粛



観察ルールの遵守

環境省 HP

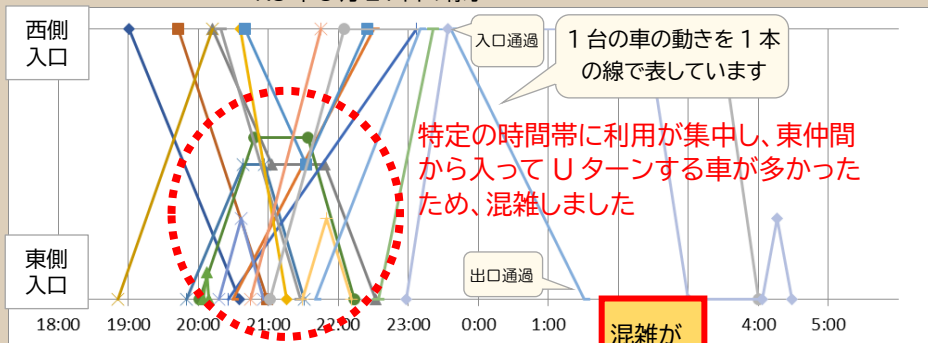
観察ルール等の詳細はこちらをご覧ください！



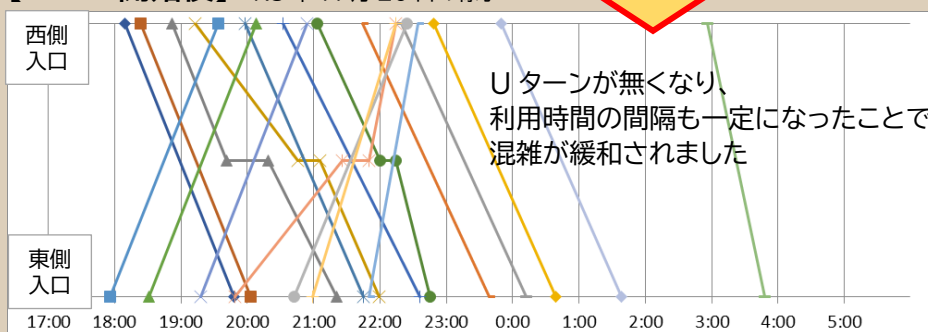
# 結果1 ルールによって混雑が緩和されました

- ▶ルール試行前は、一部の時間に車が集中したり、途中でUターンする車が見られたため、特に東仲間側が混雑していました。
- ▶ルールによって、Uターンが無くなり、一定の間隔で車が入るようになったため、混雑が緩和されました。
- ▶三太郎線の中に同時刻に滞留している車の台数も、最大12台から最大8台に減少しました。

【ルール開始前】<R3年8月27日の様子>



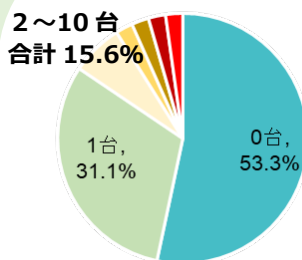
【ルール開始後】<R3年11月20日の様子>



# 結果2 みんなが安心して通れる三太郎線へ

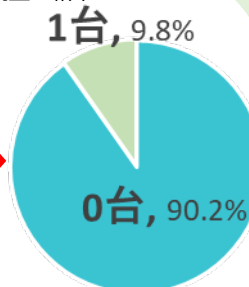
- ▶動物観察中に他の車と遭遇することは、トラブルの原因になっていました。ルールによって、他の車に追いついたり、追い越されたり、すれ違ったりする回数が減少しました。
- ▶他の車と遭遇した場合でも、ルールを守ってコミュニケーションをとることで、「嫌な思い」をすることなく「安心して」通行できたという人が増えました。

Q. 追いついた車の台数 <聞き取り調査の結果より>



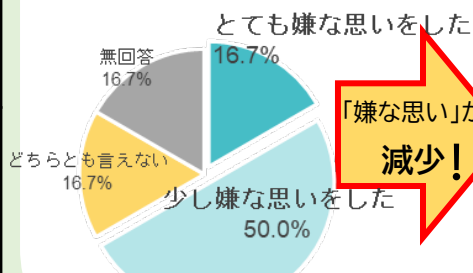
【ルール開始前】  
平均1.0台 (n=45)

「追いつき」が  
減少!



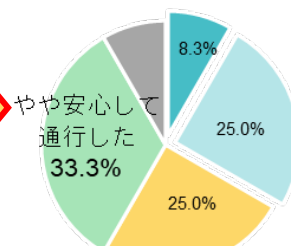
【ルール開始後】  
平均0.1台 (n=41)

Q. 他の車と遭遇した時の感想 <ガイドへのアンケートの結果より>



【ルール開始前】  
(n=6)

「嫌な思い」が  
減少!



【ルール開始後】  
(n=12)

## モニタリング結果の公表

ここで示した結果以外にも、利用者満足度や動物の観察状況、走行速度など、様々な項目をモニタリングしています。

右の QR コードを読み込んで、ぜひ詳細をご確認ください!

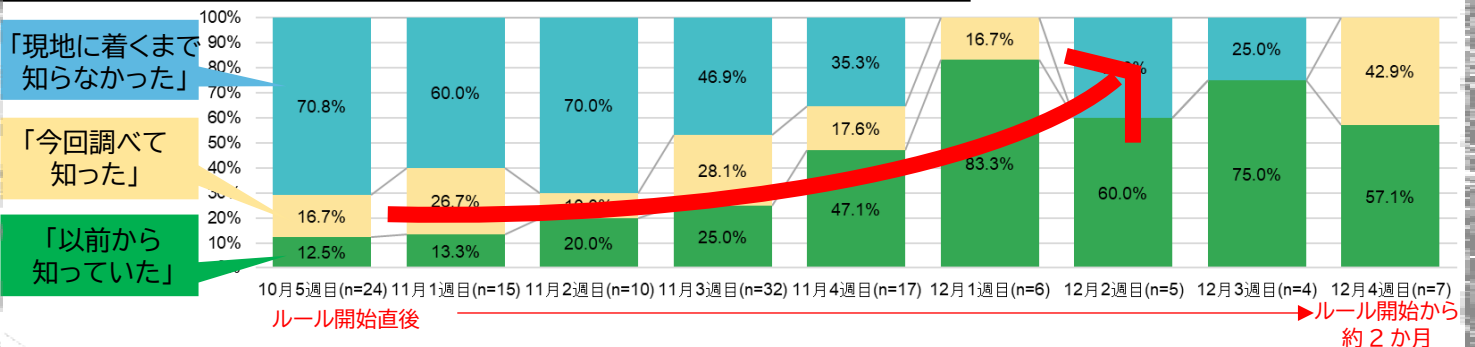
環境省 HP



# 結果① ルールの認知度が高まってきています

Q. 三太郎線周辺で夜間利用ルールが試行開始されたことをご存知でしたか？

<利用者へのアンケート調査の結果より>



## まだまだ課題もあります

- ・未予約での利用
- ・予約時間が守られない
- ・ルール適用時間の見直し
- ・利用自粛区間の利用
- ・予約サイトの利便性
- ・ルールの周知
- ・地域との連携

<ルールの改善に向けてみなさんから頂いたご意見>

### 住民の声

- 宿での周知を行ってほしい
- 住民に対しても、ルールの周知が必要
- 予約の変更やキャンセルを簡単にできるようにしてほしい
- 入口に監視員を置いてほしい
- ツアー料金に入場料を含めて、環境整備や維持管理費の財源に充ててほしい

### ガイドの声

- 時間やルールの不遵守が多い
- 監視員やゲートを設置してほしい
- 講習を受けて、ルールを守れる人だけ利用できるようにした方が良い
- レンタカーや一般車の乗り入れは禁止にすべき
- もっと看板等で周知してほしい

### 観光客の声

- 宿やレンタカーショップでの周知を行ってほしい
- すれ違いの際にハイビームを消さない人がいた
- 有料化した方が、個人のマナーに頼るよりも良いのではないかと

ご意見に基づいて、ルールを改善していきます！

みなさんの声をお聞かせください！

ルールが始まってどう感じているか、今後どのようにしていきたいかなど、皆様のご意見を募集しています！ご意見は、「奄美大島三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議」（3月開催予定）の中で検討します。

※住用にお住まいの皆様にはアンケート用紙を配布いたします。

住用総合支所市民福祉課への持ち込み、または右のメールアドレスへもご回答いただけます。

（メールの件名を「三太郎線の夜間利用ルールについて」としてください。）

内容：①ルールの内容についてのご意見

②予約の方法や予約サイトについてのご意見・ご要望

③今後の取組として必要だと思うこと・できること

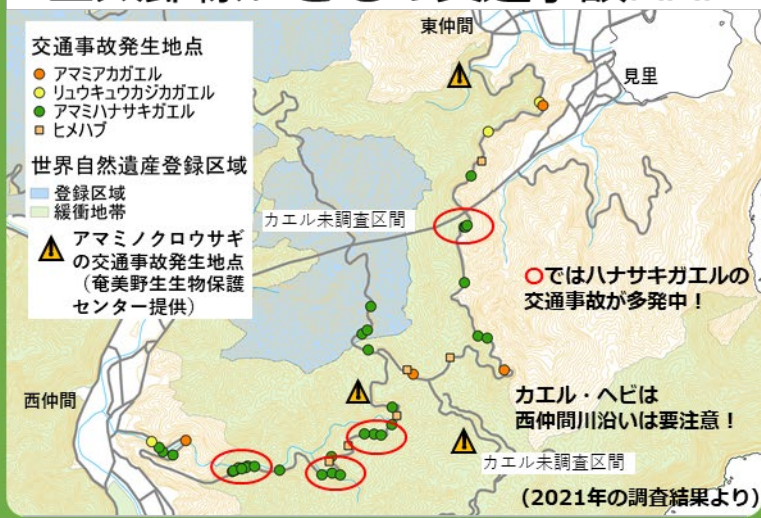
提出方法：右のQRコードからご回答ください。

メール（RO-AMAMI@env.go.jp）へのご提出も可能です。メールの件名を「三太郎線の夜間利用ルールについて」としてください。

☒切：令和4年2月14日（月）



## 三太郎線いきもの交通事故MAP



夜の三太郎線は、  
 小さいいきものにも  
 気をつけて走りましょう

アマミノクロウサギ研究会では、三太郎線のアマミノクロウサギの出没状況や、カエルやヘビの交通事故発生状況を調査しています。

2021年は57日間の調査で13種72個体のカエル・ヘビが車にひかれていました。さらに、アマミノクロウサギ3頭(石原栄間線含む)の交通事故が発生しました(奄美野生生物保護センター調べ)。

野生動物にやさしい運転をお願いいたします。

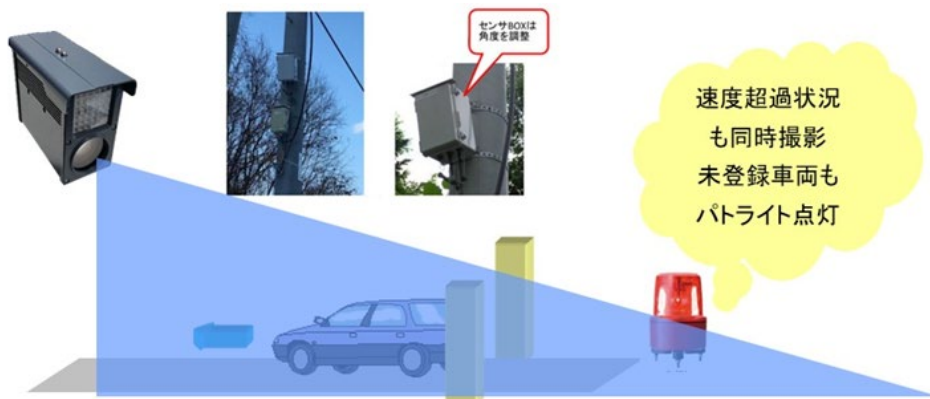
※試行ルールが始まってからアマミノクロウサギの交通事故は0件です。

## 今後の取り組み

### カメラでの予約車両判別システムの導入

奄美市では、企業版ふるさと納税を活用して、市道三太郎線の東仲間・西仲間側の両出入口において、利用ルールの対象時間内に入出りする車両ナンバーの読取・照合カメラの設置し、予約車両の判別を行います。合わせて、利用ルールに定める時速を上回って通過する車両に対して、注意喚起を行う警告灯を設けます。

本システムの導入により、在来生態系の保全や観光満足度の向上、交通トラブルの減少に向けて取り組みをより一層推進してまいります。



### 奄美の森に棲む生き物たちへの見守り

アマミノクロウサギ等の希少動物との交通事故件数が増加していることから、奄美市では、ガバメントクラウドファンディングを活用して、森に棲む希少動物の安全を守りながら、観光利用を行えるように、三太郎線周辺に生き物を見守る定点カメラを設置します。



利用ルール試行後の動物たちの様子を観察することで、生き物や森の様子を把握し、利用ルールの運用に活かしてまいります。

**ルール遵守のご協力を引き続きよろしくお願いします!**

■お問合せ先■

環境省奄美群島国立公園管理事務所  
 TEL : 0997-55-8620  
 Mail : RO-AMAMI@env.go.jp

■発行■

奄美大島三太郎線周辺における夜間利用適正化連絡会議  
 (事務局) 環境省奄美群島国立公園管理事務所  
 鹿児島県環境林務部自然保護課  
 奄美市プロジェクト推進課、住用総合支所市民福祉課